

選挙の 視点・論点 第2回

公助で「豊かさの中の貧困」解決を

「経済政策」が果たすべき使命とは

「コロナ禍の現在、本来なら入院が必要な患者の多くが自宅療養を余儀なくされています。病床の不足など医療をとりまく問題は改善されませんが、すでに「医療崩壊」と呼べる深刻な状況です。そうした中で秋に行われる総選挙は、これからの日本の医療・社会保障をどう立て直すのかを決める絶好の機会です。そのため「総選挙に向けた視点・論点」として、様々な分野から今の政治について考える特集を行います。第2回目は、この間の経済政策をめぐって問題点について同志社大学大学院ビジネス研究科教授の浜矩子氏にインタビュー取材を行いました(聞き手は編集部)。

生活が行き詰るとは、人の使命を果たさずとはしませんでした。それどころか、自らの「野望」を達成するために経済政策を利用して、私物化していったのであり、政治が果たすべき使命なのです。

こうした観点で、菅首相の経済政策、及びその継承である「アベノミクス」をみると、マイナスの「戦後レジームからの脱却」であり、「21世紀版の大日本帝国」を構築するところではないかと感じています。

菅首相は、労働環境も奪われてしまっているように感じています。

自らの「野望」の為に 経済政策を利用した

菅首相の野望とは、安倍前首相の野望とは異なる。戦後レジームからの脱却であり、「21世紀版の大日本帝国」を構築するところではないかと感じています。

菅首相は、労働環境も奪われてしまっているように感じています。

「成長」に対する根深い誤解 今必要なのは「分配」の視点

「マスコミでは「アベノミクスで経済成長」などと盛んに報じられました。この点を評価する声も聞かれますが、どうお考えでしょうか。

「これからは「分配」の視点で、経済成長をどうするか。経済成長は絶対に必要で、貧しい経済である場合は、経済が成長をしなければならず、人々の生活が困難な状態である場合は、経済的インフラを整えていくためにも、成長政策が非常に重要となります。また「これまでの全てを失ってしまっている」とも感じています。

失ってしまった経済」というのは、典型的には戦後間もない頃の日本経済のような状態です。その状態を放置しては、せつなく平和が訪れたのに、飢え死にしていることになりかねません。大急ぎで経済の再建、経済規模の復元を進めなければいけないため、成長は必要です。

しかし、この2つの場面を除けば、経済において成長は必須ではないのです。

「豊かさの中の貧困」は成長では解決できない。現在の日本は、戦後復興からの経済成長によって、すでに豊かさを満喫している状態です。

しかし、大変豊かな経済状況です。

経済の均衡保持は 生存権に直結する

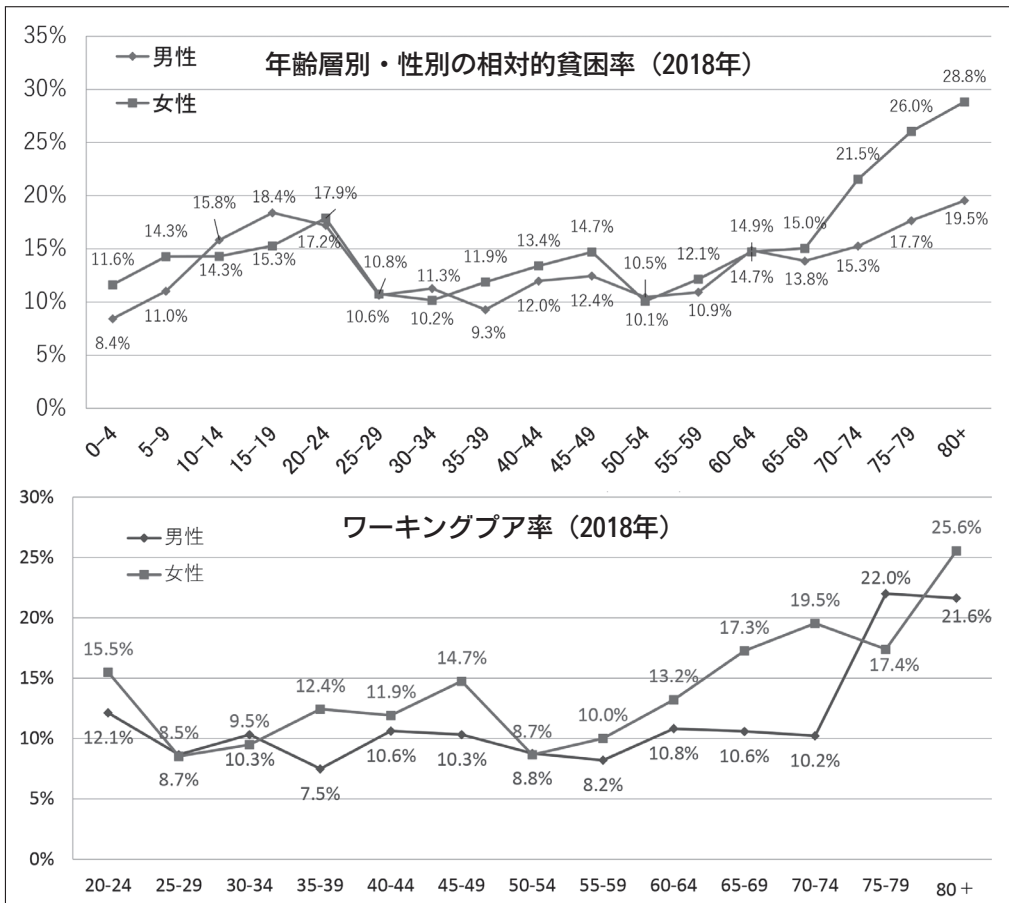
「アベノミクスの継承」を打ち出して誕生した菅政権でしたが、先日菅首相は退任の意向を示しました。この間の経済政策についてどのような評価を行っていますか。

はじめに申し上げておきたいのが「経済政策とは何のために行うのか」という点です。私は、経済政策の果たすべき使命とは「経済活動の均衡保持と復元」及び「弱者救済」であると考えています。

彼らは、もしインフレ方向にバランスが崩れれば、物資の値上がりについて作り出していく事が重要で、また、デフレ方向に崩れた場合、政府は一刻も早く



同志社大学大学院
ビジネス研究科 教授
はまのりこ
氏 矩子



※出所：阿部彰 (2021)「日本の相対的貧困率の動態：2019年国民生活基礎調査を用いて」貧困統計HP
 ※引用元：阿部彰 (2021)「日本の相対的貧困率の動向：2019年国民生活基礎調査を用いて」科学研究費助成事業(科学研究費補助金) (基盤研究 (B)) 「『貧困学』のフロンティアを構築する研究」報告書

2012年末から2018年10月まで「戦後2番目の長さの好景気」が続いたと言われるが、貧困率・ワーキングプア率は深刻であり「豊かさの中の貧困」の解決には至っていない

「公の責任放棄」への反省を

「公の責任放棄」への反省を。やみくもに経済成長すればいいわけではないのです。それ、現在のコロナ禍が明らかにした反省点のひとつであるように感じています。

経済効率を過剰に追求するあまり、本来公がすべきことを縮小・廃止し、民間に丸投げしてきた点は大いに反省すべき点だと思えます。

公の責任を放棄してきたことで、今回のような危機的状況において、人々を救うための対応力に限界が出てきてしまっているのは明らかです。

特に、この間の社会保障費削減や公衆衛生分野の弱

「公の責任放棄」への反省を。やみくもに経済成長すればいいわけではないのです。それ、現在のコロナ禍が明らかにした反省点のひとつであるように感じています。

「公の責任放棄」への反省を。やみくもに経済成長すればいいわけではないのです。それ、現在のコロナ禍が明らかにした反省点のひとつであるように感じています。

「公の責任放棄」への反省を。やみくもに経済成長すればいいわけではないのです。それ、現在のコロナ禍が明らかにした反省点のひとつであるように感じています。